

泉尾神社 所在地：泉尾 2-17-8

元禄 11 年泉州踞尾の人北村六右衛門、公許を得て泉尾新田開拓にあたり、事業の成功・土地の繁栄を祈願するため三軒家東の地に産土神社を奉斎したのが創始である。平穩な農村の氏神として崇敬されていたが、明治 41 年村民の願いにより茨住吉神社(現：西区九条 1 丁目 1-17)に合祀された。大正 7・8 年諸産業の興隆に伴い泉尾も住民が激増、氏神信仰を生活の中心とした当時の風習として九条までの参拝は遠距離であり神社側も考究の末、昭和 11 年内務省異例の認承を受け現在地を買収、石垣を築き「飛地境内神社泉尾神社」が創祀され同 17 年壮麗な檜造の社殿が造営されたが戦災のため灰燼と帰した。

昭和 29 年敬神の念篤い氏子住民の奉賛により現在の総檜造りの社殿が造営され、逐次境内の内外も整備清新な景観を誇る境域に参詣者が絶えない社と発展する。平成 2 年茨住吉神社の寛大な容認により「宗教法人泉尾神社」として設立登記された。創祀以来、再度の変遷を経て 300 年余、泉尾の地の守護氏神として鎮座、氏子住民も泉尾地域の反映を招来せる神明の加護を敬仰、事業経営、土地開拓、寿命、安産、学問、交通安全、価値運の神として崇敬されている。祭神は住吉大神、大國主神、八幡大神である。

